

グリーンテクノバンク・シンポジウム
「農業・農村の再生とICT」～地域情報化の可能性を探る～
開催要領（案）



趣 旨

北海道の広大な農村地域では産業および生活基盤における都市との格差が大きく、過疎化と高齢化が進み、事業および人の都市への流出に拍車をかけている。この結果、農業の担い手確保は深刻な問題になっており、これらの課題の解決なしに農業・農村の再生は困難である。

農村地域において都市と全く同じ環境は望めないとしても、技術革新がめざましいICT技術を利用して、農業生産の効率化や生産物の有利販売、他産業との密接な連携を図るとともに、医療・介護など福祉の充実や生活物資の購入など住民生活の利便性を向上することにより、農業をはじめとする地域産業の再生と活性化への可能性がある。

道内においても既に地域におけるICT活用に取り組んでいる、またはこれから進めようとしている市町村がある。これらの事例における実績と残された課題を踏まえて、ICTの可能性と限界を探るとともに、課題の解決に向けて必要な産学連携を実現する場として、本シンポジウムを開催する。

本セミナーは、農林水産省の委託事業『地域産学連携支援委託事業』の一環として実施するものです。

開催日時 2011年11月29日（火）、13時～16時30分

開催場所 北海道大学学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目、電話：011-706-2141）

予定参加人数 200名

参加費 無料

主催 NPO法人グリーンテクノバンク、農林水産省

共催 日本気象協会北海道支社

後援 （予定）

北海道開発局、北海道総合通信局、北海道、北海道大学大学院農学研究院、北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会、（独）農研機構北海道農研センター、（独）北海道立総合研究機構、日本農業新聞北海道支所、北海道新聞社、北海道協同組合通信社、HBC北海道放送、NHK札幌放送局、札幌テレビ放送、TVhテレビ北海道

次 第

（1）開会挨拶 主催者：松井 博和（NPO法人グリーンテクノバンク会長）

（2）講演（13:10-14:55）

1）基調講演（13:10-13:50）

「農業の価値を高めるためのICTの使い方」

山本 強（北海道大学大学院 情報科学研究科教授）

2）事例発表（13:55-14:55）

①乙部町ICT利活用地域再生プラン（13:55-14:15）

小石 裕之（乙部町財政課長）

②美唄郷土情報による地域活性化モデル事業（14:15-14:35）

土屋 貴久（美唄市商工交流部商工労働課主査）

③初山別村・暮らし支援ネットワークの構築（14:35-14:55）

大水 秀之（初山別村経済課長）

◇休憩（14:55-15:10）

3）総合討論（15:10-16:15）「地域および産業の再生におけるICTの可能性」

コーディネーター：NPO法人グリーンテクノバンク 水島 俊一

パネリスト：津田 健二（北海道総合通信局）、黒澤 不二男（北海道地域農業研究所）、
荒木 美紀子（小清水はなことりの宿ユースホステル）

アドバイザー：山本 強（北海道大学大学院）

（3）閉会挨拶 共催者：小林 利章（日本気象協会北海道支社長）

交流会（17:00-19:00） 北大百年記念会館レストラン きゃら亭